

令和6年度第1回習志野市発達支援サポートネットワーク会議 議事記録

1. 開催日時 令和6年5月17日(金) 午後2時30分～4時00分

2. 開催場所 市庁舎グランドフロア 会議室 A

3. 出席者

【会 長】 こども部(こども保育課) 主査 布施 恵子

【副会長】 指導課 指導主事 関 陽介

【委 員】 健康支援課 係長 田嶋 越子、障がい福祉課 係長 小森 俊

本大久保第二保育所 所長 前田 玲子、秋津保育所 主任 坪内 美穂子

東習志野こども園 園長 石川 由美、藤崎幼稚園 教頭 齋藤 麻子

こども部(児童育成課) 主幹 上野 智子、学校教育部(教育総務課) 主幹 伊坂 尚子

指導課 指導主事(係長) 富田 政芳、あじさい療育支援センター 主査 秋山 菜穂子

ひまわり発達相談センター 主査 清田 直子

欠席2人

【事務局】 ひまわり発達相談センター

所長 内村 幸輔、主任指導員 橋詰 信一郎、主査補 田中 真由美、主任主事 深澤 佑子

4. 議題

(1) 令和6年度 発達に支援が必要な子どもへの理解を深めていくための各課の取り組みについて
(市民協働こども発達支援推進協議会での委員の意見を踏まえて)

(2) その他

5. 会議資料

資料1 本市の発達支援施策の立案体制

資料2 習志野市発達支援サポートネットワーク会議委員名簿

資料3 習志野市発達支援サポートネットワーク会議設置要領

資料4 令和5年度第3回習志野市発達支援サポートネットワーク会議 議事記録

資料5 令和5年度第2回習志野市市民協働こども発達支援推進協議会会議録

資料6 発達に支援が必要な子どもへの理解を深めていくための各課の取り組み状況調査シート

資料7 沖縄市の主な発達支援施策

資料8 習志野市広報記事「ひまわり〇〇のひとりごと」

資料9 令和6年度ライフサポートファイルチラシ(未就学児)

資料10 令和6年度ライフサポートファイルチラシ(小中学生)

6. 議事内容

(1) 令和6年度 発達に支援が必要な子どもへの理解を深めていくための各課の取り組みについて

(市民協働こども発達支援推進協議会での委員の意見を踏まえて)

発達に支援が必要な子どもへの理解を深めていくための各課の取り組み状況調査シートを基に各課の取り組みを発表。

具体的に取り組んでいること

- ・ 1歳6ヶ月児健診及び3歳児健診の会場に「あたたかく見守ってくださいのポスター」を掲示し啓発をしている。
- ・ 児童の福祉サービス申請時にライフサポートファイルを活用している。職員が目を通すことで、事前の調査項目を減らし、保護者の申請時の負担を少なくするように心がけている。
- ・ 県等が主催する発達障がい全般の研修に職員が参加している。
- ・ 発達障害啓発週間があり、市役所展望回廊のライトアップ（青色）、青色の市旗を1週間掲揚し子どもだけではなく、広く発達障害の啓発に向けた取り組みをした。
- ・ 4月、9月、12月に、市庁舎の市政広報用テレビモニターに「あたたかく見守ってください」のポスター等の放送を実施した。
- ・ 直営、委託している児童会全36か所の職員全員を対象に習志野特別支援学校の先生や、教育委員会の指導課の方に依頼し、障がいに対する理解のための研修を行う。
- ・ 発達に支援が必要な子どもに関するポスターなどを各施設に貼ることで、理解を深めるための啓発に努めている。
- ・ 支援を要する子どもへの具体的な援助方法について助言を行い、またその支援を、要する子を含めた学級運営についてアドバイスを行っている。（学級運営支援事業）
- ・ 公立、私立施設の、加配の職員を対象とした研修を年3回実施している。
- ・ 啓発活動として「きらっといっぽの会」の「あたたかく見守ってください」ポスターを、職員及び保護者玄関の方に掲示している。
- ・ 若い職員やまだ支援児を担当することが少ない職員を対象に、支援員研修へ参加できるようにしている。
- ・ 加配職員中心に特別支援研修を行う時間を設けている。（受け持っている学級担任も含む）
- ・ 学級運営支援事業を対象児以外の加配職員も参加できるようにした。
- ・ 人権教育については、全国保育士協会が作成したセルフチェックリストを利用し、職員研修として取り入れている。
- ・ 職員間でも園内支援研修を行い、全体で共通理解をし、同じ支援をしていけるようにしている。
- ・ 「きらっといっぽの会」主催のお話サロンに、センター利用の保護者の参加を促した。
- ・ センター日より（保健、食べ物、クラスでの様子など）を出し、日ごろのお子さん達の様子などを配布している。
- ・ 所内（摂食、事例検討など）や外部の研修に参加し、知識を深めている。また、保護者や幼保こども園の職員対象に研修を実施している。
- ・ 個別支援計画の作成やライフサポートファイルについても職員に声かけして周知を深めている。
- ・ 人権教育についても、職員間で日頃の行動を振り返り確認をしている。
- ・ 「ひまわり職員のひとりごと」を広報に6回掲載し啓発を行ってきた。さらに内容を加えたものをHP掲載、チラシを作成し、各施設に置いた。
- ・ 成長発達に心配のあるお子さんや支援の方法、基本的な知識の習得を目的に発達支援研修、講師

派遣研修を実施している。

- ・乳幼児個別支援計画は、R5年度は200人が作成し、5歳児においては関係機関と連携を取り、小学校に引継ぎを行っている。
- ・教育復興基本計画に沿った施策の点検と評価、外部の有識者からの意見を集約している。
- ・特別支援の担当だけでなく、通常級の担任に向けて正しい理解と対応が出来るように研修を行っている。

今後取り組もうとしていること

- ・昨年度に引き続き、ライフサポートファイルのお渡しを健康支援課の窓口で行っている。
- ・今後は、「きらっといっぽの会」と連携したチラシ・ポスターの作成、配布を予定している。
- ・他の市町村で放課後児童会の支援を行っている方を呼び、どういったことをやっているか、支援が必要な子どもへの接し方などの研修を検討している。
- ・今年度、全施設の職員が人権教育について、共通理解を図るような場や時間を確保していけるように取り組んでいきたい。
- ・職員へ、ライフサポートファイルや乳幼児個別支援計画の内容等を周知していく。
- ・個別支援計画をすでに作成している子もいるが、気になっているけれどまだ個別支援計画はという子に関しては、ライフサポートファイルの方から始めたり、就学に向けては、ひまわり発達相談センター、健康支援課等に相談しながら進めていきたい。
- ・「ひまわり〇〇のひとりごと」や「きらっといっぽの会」の「あたたかく見守ってください」のポスターなどを掲示し、発達に支援が必要な子がいる家庭以外の方へ周知することで伝わると良いという思いを込め、継続していきたい。
- ・就学に向けてどのような支援につなげていこうか悩んでいる家庭もあるため、慎重に保護者との関係を築き、丁寧に進めていきたい。
- ・支援する中での対応の振り返り、迷いや悩みなど、声を出しやすい職場の雰囲気づくりに努める。
- ・いろいろな機関との連携を行い、情報共有に努めていきたい。
- ・特別支援学級の内容などについて理解してくれる保護者も多い。所属しているお子さんが嫌な思いをしないように、理解してもらえるように学校ごとの取り組みを広めていけたらいい。

質疑応答

- ① 特別支援研修の講師について。また、加配の職員と担任と一緒に受ける研修はとても大切と思うが、他の園でもこのような研修が実施されているのか？
→市内在住の専門家を呼び、お子さんを実際に見ていただき、午後は職員の相談を実施した。
→特別支援用の講師を呼ぶ予算が園内研修などとは別に算定されているため、各園でも行われていると思われる。
- ② ライフサポートファイルと個別支援計画の違いについて確認したい。
→ライフサポートファイル作成の経緯を説明。個別支援計画はライフサポートファイルに綴じてお渡し一体的な活用を進めている。
→就学後は、指導計画を作成時に保護者に記入していただくことがあるため、ライフサポートファイル、個別支援計画と、学齢期のものについてはうまく融合していけるとよい。
- ③ 教育復興基本計画には、インクルーシブ教育や特別支援教育が載っていると思うが、個別支援計画、個別の教育支援計画や個別指導計画の取り組みについて、有識者からの報告や

意見があったら教えてほしい。

→教育振興基本計画の点検評価の有識者の意見等は、ホームページの方を見て頂きたい。

④ 子ども同士が理解しあう取り組みについて：通常学級の先生方が特別支援学級のことについて共感や理解が深まってきているのか、教えていただきたい。

→担任の先生に見ていただいたり、話をきいてもらったりしている。お子さんに対しても例えば、眼鏡は見えにくいからかけている、耳が聴こえにくいから補聴器を使っているなど、そういうことをしているお子さんはずるいのか？など、問いかけ考えてもらっている。

→学習や集団での活動の中で難しさを抱えているお子さんに対し、眼鏡や補聴器などその子にあった方法を使って勉強をしているという話をすると、お子さんや先生方は理解を示してくれる。特別支援学級のお子さんや担任と通常学級の交流の部分で理解を得ている実感がある。保護者の方にも理解が広がっていくとよい。

（２）決定事項

- ・ 今回出た意見をまとめ、発達支援施策の一覧表の作成に取り組み、各課の事業を可視化し、活用していきたい。今後、事務局にて案を作成し、メールにて送信する予定なので、加筆修正等、皆様のご意見を伺いたいので、引き続きご協力をお願いしたい。

（３）その他

- ・ ７月１１日（木）に第１回の協議会で今回の内容を報告する。
- ・ ひまわり発達相談センターでの公開講座が８月８日（木）に決定。講師は光真坊浩史氏。プラッツ習志野市民ホールで午後１時半から３時半までの予定。詳細は、チラシや広報紙でお知らせする。
- ・ 第２回のサポートネットワーク会議は、１１月１８日（月）１４時半～開催予定。

